



読書感想文を書こう!

読書感想文を書くための本を選ぶときに参考になる本や、文章の書き方を教えてくれる本を紹介します。

1 まずは本を決めよう!

自分で好きな本を選んで読む自由読書と、コンクールの主催者などが指定した本から選んで読む課題読書があります。

課題読書を選んだ人や、もう読みたい本が決まっている人は早速読んでみましょう。

本が決まらないという人は、図書館で読みたい本を探してみましょう。

以下では、本の探し方のヒントになりそうな本を紹介します。

『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本300』

東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会／編著 ペリかん社 2017 (019/5/91)

学校図書館で働く司書や先生が、小学生～高校生におすすめしたい本のキャッチコピーや紹介文を、図書分類ごとにまとめて書いている本です。

『若い人のための10冊の本』 小林 康夫／著 筑摩書房 2019 (019/5/98)

東大の名誉教授である著者が、10代に届けたいと願う本を紹介しています。児童書や小説、詩集など、様々な本を紹介すると共に、巻末には関連書籍一覧も掲載されています。

『ヤングアダルトの本』 日外アソシエーツ株式会社編

日外アソシエーツ株式会社 (028/09R/22)

「SDGs(持続可能な開発目標)を理解するための3000冊」や「将来の仕事・資格に出会う3000冊」、「悩みや不安迷ったときに読む4000冊」、「いま読みたい小説4000冊」、「高校教科書の文学3000冊」、「部活をきわめる3000冊」などのシリーズがあり、たくさん本が紹介されています。

これらの本は貸出できませんが、別室カウンター横に配架していますので、自由に読むことができます。

県立図書館の青少年コーナーでは、季節やテーマに合わせた展示を行っています。自分の興味がある本を青少年コーナーのホームページから探してみるのもいいでしょう。

☆青少年コーナーのHP https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/index.php?page_id=869



2 実際に書いてみよう！

読み終わったら、いよいよ読書感想文に取りかかります。

しかし、思ったこと、感じたことをただ自由に羅列すればいいという訳ではありません。

読みやすい文章になるように、文章を書く時のルールや原稿用紙の使い方などに注意しましょう。

『13歳から身につける一生モノの文章術』

近藤 勝重／著 大和出版 2017 (816//290)

比喩や読点、時系列など、文章を書く際のポイントについて、文章のプロである新聞の編集委員である著者が様々な問題を設け、“文章力”を鍛える方法を紹介しています。

『放課後の文章教室』 小手鞠 るい／著 偕成社 2019 (816//309)

小説家であり、書くことが好きだという著者が、文章や書くことについて寄せられた質問に対して答えた本です。

『自分で考え、自分で書くためのゆかいな文章教室』

今野 真二／著 河出書房新社 2019 (816//310)

表現の言い換えや登場人物の入れ替え、文の並び替えなど、文やことばの“実験”を試みた本です。考えて書く力、書いて考える力の両方を身につけることができます。

『めんどくさがりなきみのための文章教室』

はやみね かおる／著 飛鳥新社 2020 (816//317)

『都会のトム&ソーヤ』シリーズを描く著者。作文が苦手な中学2年生の少年と、小説家に飼われていたという不思議な猫との関係を通して、文章の書き方を学ぶことができます。

青少年読書感想文全国コンクールのHPに掲載してある

「感想文Q&A」でも、本や書き方について知ることができます。

☆青少年読書感想文全国コンクールのHP <https://www.dokusyokansoubun.jp/>



インターネットで他の人が書いた文章を少しだけ変えて読書感想文を書いても、それはあなたの読書感想文ではありません。きちんと自分の言葉で書くようにしましょう。



〈調べる時の注意事項〉



- ①本に書いてあることもインターネットの情報も全てが正確な情報とは限りません。必ず複数の本・ウェブサイトなどで確認をしましょう。
- ②自分が調べた本はそのタイトル・出版社・出版年を、サイトなどはURL、見た日などを必ず記録しておきましょう。
- ③本館 1 階別室には、調べもの用にインターネット情報を検索できるパソコンがあります。使用する時はカウンターで手続きをしてください。